2025 年度　認定こども園みゆき　施設評価・施設関係者評価

令和 8 年　3 月 31 日

■ 園の概要

2017 年に福山市の公立保育所から法人移管され、私立「御幸保育所」として運営が会され、2018 年 3 月に現在の土地に移転し、2020 年には認定こども園に移行し「認定こども園みゆき」として現在に至ります。
表側は 2 階建てですが、内部的には 1 階に０～５歳児までの保育室と遊戯室、ランチルームを備え実質的には平屋づくりになっています。２階には、子育て支援センターと職員関係の部屋があります。

各部屋には畳のコーナーがあり、どの部屋も国基準の 1.5 倍以上の広さになっています。園庭は芝生のトラックがあり、広々とした環境で、園の行事もすべて園内で完結できる空間になっています。

■ 園の評価（園自己評価について　第三者評価について）

これまで園の評価として自己評価を行ってきたが、認定こども園に移行し、外部評価として関係者評価を行うようになった。また、2022 年 2 月には第三者評価の認定を受けている。これらを踏まえて適切な運営を通じて安心できる保育ができるように、客観的な視点がから園運営の改善をし、職員の資質向上につなげるために評価を行うものとする。次回は 2026 年度中を予定している。

■法人の理念

＜ひとつの理念＞
「愛のあるところに生命がある」　～惜しみない愛で生命を育み、　個が共に育つ文化をつくる～

認定こども園教育・保育要領、その他の法律を遵守し、乳幼児期に求められる適切な環境のもとで、養護と教育を一体的に行い、児童の健全な心身の発達を促すことを目的として、それに必要な家庭や保護者の支援を行うものとする。また、地域の中で活動するために、学校や地域組織とも連携をして、社会的に信頼されるように努め、貢献できる活動を目指す。

■園の基本方針　７つ（虹の方針）

■笑顔があふれる園　■安心安全がある園　■個性を尊重する園　■生きる力を養う園　■就学連携できる園
■みなが共に育つ園　■地域に貢献する園

■教育・保育目標　５つ（星の目標）

●希望がある、元気な子ども
愛し愛されて育つ
夢をもち明るく生きる
みんなと力をあわせて楽しくすごす

●自分からできる、前向きな子ども
時間をみて自分からする
身の回りのことができる
できることによろこびを感じる

●しなやかで、たくましい子ども
よく遊び　よく食べ　よく休む
身の安全を守れる
柔軟に考え　最後までやり抜く

●何事にも共感し、考える子ども
人の心や物の仕組みを知り　豊かに表現できる
はなしを聞き　自分の考えを伝える
自然や社会とともに生きる

●素直な心をもつ、やさしい子ども
よいと思うことを　勇気をもってする
ありがとう　ごめんなさいが素直に言える
まちを愛し　ひとを思いやれ

■具体的目標・計画と実践の振り返り
＜保育の特色＞

認定こども園みゆきは、５０年以上にわたり、地域の中で愛された御幸保育所の理念も継承し、御幸学区を愛する地域の子どもを想う気持ちを踏まえて、のびのびとした保育環境と保育内容を基本として行う。
外部講師に極力頼らず、職員が自ら計画し実践する保育の中で、子どもたちの連続した成長環境を保障するものとする。保育は、教育的な内容のみならず、養護的な支援も行き届き、食育にも力を入れ、地域行事などにも積極的に参加するものとする。

①　教育課程・指導
・年間指導計画、週案、月案などの作成などは ICT も活用し、児童の個別計画や年度をまたがる形で記録が引き継げるような形態（個別ファイル）をとっている。
・職員間の連携し、週案や月案などを作成することより、一日の保育の流れなどを明確にする事が出来るようにし、担任の先生に代わり部屋に入ってくれる職員に対して申し送りなどを行い、その日の保育が運営できるように努めている。

②　保健管理について
・登園時に健康チェックを行い、それ以外も発熱や機嫌などの観察を随時行っている。特に、乳児に対する日常の健康観察は毎日複数回行っている。
・環境検査の実施感染症対策　・感染症対策（手指消毒、除菌）、熱中症対策はマニュアルに沿って行っている。
・薬剤師による水質検査・空気検査・飲料水･水飲み検査・井戸水検査を行っている。

③　食育活動の促進について
・0・1・2 歳児は主に、様々な野菜や果物に触れ、食べ物の味・色・形・匂いなど五感を使った経験ができるように行なっている。3・4・5 歳児は、様々な調理器具を使い、料理をする楽しさや、みんなで作って食べる喜びを感じながら行なっている。
・年間 12 ヶ月、入園から卒園までのべ７２ヶ月の計画に基づいて行っている。内容としては、調理だけではなく、衛生や伝統文化、マナーも学んでいる。

④　菜園・稲作活動について
・認定こども園みゆきの園内のプランターで年間を通じて植物の栽培を行っている。この他にも園舎前にある地域の方が管理する菜園で、地域の方と一緒に収穫活動ややきいもづくりなど行っている。主に 3・4・5・歳児を中心にして活動を行い、大きくなった野菜を収穫してみんなでクッキングをしたり、給食のメニューで美味しく頂いたりしている。

⑤　安全管理・危機管理について
＜送迎＞
・登降園時の送迎車の安全な送迎環境にも定期的に啓発を行っている。

＜大雨や地震に関すること＞
・防災用品の購入につとめ、定期的に使用するなど管理している。
・大雨時には登園基準を策定し、セコムメールなどの緊急メールシステムの導入も行っており、定期的な訓練もしている。（４月～６月）

＜誤嚥対策＞
・誤嚥発生の救急救命や通報に関して、定期的に訓練を行っている。各クラスにも緊急時の対応について掲示をしている。

＜避難防犯安全指導＞
・毎月 2 回の避難防犯安全指導を行ない、火災や地震・不審者などを想定した避難訓練を実施している。職員も毎回役割を変え、評価反省も毎回行っている。

⑥　組織運営について
・教職員への勤務要綱マニュアルの周知（年度当初）
・教職員への情報の取り扱い方針の周知（年度当初）
・年度当初に教職員で勤務要綱マニュアル（適切な保育の実践に向けて）の読み合わせを行った。それと同時に個人情報の 取り扱い方や、守秘義務についても周知している。

⑦研修（資質向上の取組）
・資質向上のため全教員が園外研修へ参加。 園内研修も月１回程度、全体または、クラス単位で行っている。
・キャリアアップ研修も随時受講している。

⑧情報提供
・園だよりやクラスだよりなどを通して保護者に情報を提供 している。
・HP やキッズビュー、園舎前掲示板でも入園や感染者情報など適宜行っている。
・セコムの配信メールを実施(2019 年 6 月末より)

⑨保護者・地域住民との連携
＜地域貢献＞
・社会福祉法人昌和福祉会では、社会福祉法人としての公益性を考え、地域社会に必要とされる社会貢献活動を行っている。福山市地域福祉貢献活動協議会に参画している。
・御幸学区まちづくり推進委員として学区の活動に協力している。
・園独自の活動として、経済的に厳しい家庭には、上乗せサービス（主食の提供）などの費用を減免している。

＜ボランティアや交流活動＞
・中学生職場体験（チャレンジ WEEK）や社会福祉協議会のヤングボランティアの受け入れをしている。

＜地域活動への参画＞
・御幸学区や町内会の地域清掃活動に参加
・御幸学区主催行事に参加

⑩地域子育て支援センター　そらひろば
・開所日：週３～４日(月～金)土・日もあり(不定期)
・開所時間：9：00～14：00
・利用組数：毎回 8 組～10 組
・内容：簡単クッキング、ベビーヨガ講座、給食体験など
・情報提供紙を毎月１回発行
・毎月１回　同法人の運営する子育てサポートステーションいくたす（ゆめタウン福山店２階）で、市内１０園の施設と共同で子育て支援活動に参画

⑫ 預かり保育
・一般型として保護者の方のお仕事や病気や急な出来事でご家庭での保育ができない場合、一時的にお子様をお預かりして保育している。(2020 年までは年間 300 人以上の利用者、2021 年 2022 年はコロナの影響により減少)
2023 年度の預かり数は大幅に増加した。(年間 300 人以上)
・幼稚園型として、１号認定児童の預かり保育を 13 時 16 分から 19 時、土曜日も行っている。

⑬ 園内安全点検について
・屋外・屋内遊具などに危険箇所がないか、定期的に点検を行っている。
・園庭や園舎など、園の設備全般に危険箇所がないか定期的に点検を行っている。
・定期点検以外にも修繕箇所を発見した際は、園長まで直ちに報告し必要な対策を行っている。

⑭だれでも子育てサポート事業
・11 月より実施をしている
・期間も短かったため、払い戻しも発生したので、次年度以降は改善に努めたい。

■教育目標の達成、学年の年間目標に対する評価

全体の教育・保育の方針

・幼児は朝のマラソンやラジオ体操・鉄棒などあそびをサーキットあそびとして取り入れ、継続的に行うことにより、児童の身体の発達に必要な経験を取り入れるようにしている。２歳児からはリズム（さくらんぼリズム）を取り入れ協調動作ができるように、五感の発達を促している。
・乳児は安全に配慮しながら体を動かしたり、温度に敏感になるように外気に触れたりしながら、快適に過ごせるようにしている。
・絵本の読み聞かせや制作活動を通じで、感受性が豊かで、何事にも興味や関心が持てるような子どもになるように会話を大切に教育や保育を行っている。
・５歳児は係仕事などを通じて、協力関係や感謝する心が育つようにしている。
・集団保育の中で、なるべくお互いの気持ちが通じるように、保育士が仲立ちしたり、話し合いの場面を設けたり、理性とともに人間関係が醸成されるようなクラスづくりにつとめている。

■2025 年度の評価・反省

めだか組(0 歳児)

・保健的で安全な環境を整え、健康状態の観察を丁寧に行ない、病気や異常は早期発見して対応し元気よく過ごす。
・愛情豊かな保育者の受容により、信頼関係の基礎を培う。
・一人ひとりの生活リズムを大切にし、生理的欲求を満たして生命の保持と情緒の安定を図る。
・様々な物に好奇心や関心をもち自分 の思いを表現する。

新年度のスタート時は人数も少なく、落ち着いた雰囲気の中で、個々に合わせた生活リズムを大切に過ごし、保育者と子どもとの信頼関係を築いた。人数が増えていき、月齢差がある為、個別に配慮しながら活動を考えていった。高月齢の子どもたちは、集団生活に慣れ始めると、自分でやりたい気持ちも芽生えてきた。子どもたちのやりたい気持ちを大切にしながら見守り、できることを増やしていくことができた。低月齢の子どもたちは、園生活に慣れ、情緒が安定するように個々のリズムを大切に、個々にあった関わりをしながら過ごせた。

ひよこ組(1 歳児)

・安心できる保育者のそばで簡単な身の回りのことを自分でしてみようとする気持ちが芽生える。
・一人ひとりの欲求や自我の芽生えを大切にしながら欲求を受け止め自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。
・ひとりあそびを楽しみながら保育者や友だちに自分の思いを出しかかわって遊ぶ楽しさを味わう。

基本的生活習慣について、友だちがしていることに興味をもち、自分もやってみようとする姿が見られたが、どの子も一年を通して身につけることができていた。

友だちに興味や関わりが増えてきた分、玩具や場所の取り合いなどのトラブルが見られたが、保育者が気持ちを組みとり、仲立ちをすることで、解決することができていた。

友だちや保育者との関わりなどで、ことばでやり取りをすることができるようになってきている。

りす組(2 歳児)

・季節に応じた環境の中で、生命を保持し、情緒が安定する。
・自己主張しながら、友だちとあそぶことを楽しむ。
・保育者との安定した関わりの中で、生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。

身の回りの簡単なことを自分でやってみようとする姿が多く見られるようになり、できたことを保育者に認められることで喜びを感じ、自信になり、他のことにも挑戦してみようとする姿がみられた。また、友だちとの関わりのなかでトラブルになることもあるが、相手の気持ちを聞き、自分の思いも伝えることで、納得し、お互いの気持ちを考えながら、あそぶ姿が少しずつ芽生えてきた。

うさぎ組(3 歳児)

・基本的な生活習慣のリズムが確かになるように、身の回りことを自分でできるようにする。
・友だちや保護者との関わりを深め、様々なことに挑戦しようとする。
・自分の欲求や感じたことを自分なりの方法で表現する。
・あそびや生活を通し、約束やきまりがあることを知る。

３歳児クラスへと進級し、環境の変化はあったが、大きく生活の流れを変えることなくスタートしたことで、安定した情緒で元気に過ごすことができた。友だちとの関わりでは、特定の友だちとあそぶことが増え、誘い合ってあそぶ姿がみられるようになった。小さなトラブルもあったが、お互いの思いを聞く、伝え合う場を作り、仲立ちした。自分でできるようになったことが喜びにつながり、チャレンジしてみようとする姿が周りにも広がり、クラス全員の自信となった。

くま組(4 歳児)
・一人ひとりの子どもの欲求を十分に満たし安心して園生活が送れるようにする。
・信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする。
・友だちと関わりあいながら、一緒に遊んだり生活したりすることを楽しむ。
4 歳児クラスに進級し、新しい環境になったことに期待や意欲をもって生活する姿があった。なかには、新しい環境に戸惑いや不安を感じる子の姿もみられたが、一人ひとりの気持ちを受けとめ、寄り添うことで、安心し、保育者や気の合う友だちとの関わりを深め、次第に新しい活動や環境に親しんでいた。
友だちと一緒にあそぶ中で自分の意見を伝え、相手の意見を聞きながら、あそびが発展していく楽しさや共通のイメージをもってあそびを広げていくことに喜びを感じ、工夫する姿もみられた。
運動あそびでは、雲梯や鉄棒、吊り輪、八角ジム、跳び箱、なわとび等一年を通して継続して取り組むことで、握力や脚力がついてきたことが自信につながり、できるようになる過程を楽しみながら目標に向かって主体的に行動していた。運動会や発表会の様々な取り組みに向かって集団で力を発揮し、やり遂げたことで達成感や満足感を味わうことができた。

ぞう組(5 歳児)
・友だちと一緒に過ごす園生活を通じて、協力して目標を達成する充実感を得られるようにする。
・主体的に行動する力を身に着け、参加意識をもつようにする。
・生活に必要な習慣や態度を身につけ、その意味を理解して行動に反映できるようにする。
・何度でも試行錯誤してみる。特に反省をする心が育ち、しなやかで何事にも前向きな姿勢を培う。
・年長児としてお手本になるような態度で過ごし、できることが増えるなかで自信をもって就学できるようになる。
この一年の間で年長児としての自覚をもちどの活動も意欲的に取り組む姿が多く見られた。友だち同士で試行錯誤をして作り上げることや支え合いあきらめずに取り組むことも経験できた。自分ひとりではなく、友だちの存在や周囲の人々の存在に気づき、感謝することにもつながった。沢山のことに挑戦し経験を重ねることで、多くの学びを得て、自分たちの可能性を信じ自信をもって就学へとむかえた。

■行事や各種運営について

評価　A…達成された　B…おおむね達成された　C…要改善

〇大きな行事（A）
・運動会は通常通り行った。保護者は各家庭２名の参加ができた。
・夏祭りは児童と保護者ともに概ね楽しむことができた。
・発表会は２～５歳まで通常通り行った（2021 年度は無観客だった）が、保護者の参加は２名のみとした。
・卒園式は人数制限で各家庭保護者は２名の参加で行った。
・参観日は、ランチ参観と保育参観（3 回）と祖父母参観を行った。

〇食育活動（A）
・食育の年間指導計画にそって、月１回の食育指導で、その月の目標にあわせて子どもたちに指導している。
・衛生面に配慮しながら、毎月１回クラスごとに実施している。
・クッキングは、ほぼ毎月１回行っている。

〇誕生日会（A）
・毎月１回　月末に行い、給食も特別食とした。
・毎月ごとの担当を決め、計画的に取り組めている。
・子どもたちの年に１度の特別な一日を、大切にしながら取り組んだ。

〇避難防犯安全指導　危機管理誤嚥等の訓練（A）
・毎月の訓練を実施することで避難実施訓練は上手に避難ができている。また、津波や浸水を想定した避難訓練も実施し、実際に 2 階に垂直避難を実施した。いろんな想定やいろんな場面での避難訓練を出来る限り行っていく。
・いざという時に職員が的確に避難誘導ができるように、職員の役割の意識が大切である。リーダーの職員がいなくても判断し誘導ができるよう、毎回見直しながら職員間で改善に努めている。
・誤嚥対策の訓練も年間２回行った。

〇学校安全指導・安全点検（A）
・月１回の安全点検を、各クラスで行っている。子どもたちの安全を第一に考え、危険な個所に気づける意識が大切である。いつ壊れたのかわからないということも多いため、職員一人ひとりの意識を高めていく。
・安全指導は、遊具の使い方や園庭で遊ぶ時のルールなどを職員間で確認し、だれでも同じように指導できるようにすることが必要である。

〇水遊び・夏季プール（B）
・プールの際は必ず監視が付く状態で実施した。
・プールでの約束を知らせ、守りながら事故なく楽しく過ごすことができた。
・コロナ以降、２グループに分け、少人数の入れ替え制にしている。
・年々暑さが厳しくなっているので熱中症に気を付けて実施しているが、園舎の環境のおかげで日数は十分に確保できている。
・救急救命や誤嚥事故の訓練活動は年間数回程度園内で研修を行った。

〇菜園活動（A）
・園内の菜園活動を通じて、栽培の体験と収穫を楽しんでいる。
・季節ごとに自分たちで収穫し、それを給食で味わうと言う経験が、子どもたちの食事への意欲につながっている。
・園舎前の農家との交流を通じて、さつまいまの収穫活動や野菜の差し入れ、やきいも体験など、人的物的にも豊かな保育実践につながっている。

〇園外研修（A）
・キャリアアップ研修を含め、様々な分野の研修を全職員に案内し、興味のある研修にすすんで参加するよう全職員に啓発しているが外部研修に行くのは限られてしまったため学んできたことを園内で共有したり、自身が実践することで共有したりすることを大切にしている。できるだけ全職員が研修に参加できるように、計画的に行いたいが、なかなか難しい現状がある。
・民間の会社が提供しているオンデマンドや ZOOM の研修機会を増やしたことで、２年間でほとんどの職員が 60 時間の所定研修を受講できた。今後もキャリアアップ研修の要件に対応できるようにしたい。

〇懇談会・面談（B）
・参観日のたびに３０～４５分程度のクラス懇談会を開催した。
・2025 年度は全園児の個人懇談と新入園児は入園後に２～３者面談を行った。

〇職員のコミュニケーション（A）
・月１回の会議や毎日の昼礼の際、各クラスの個の取り組みや保護者の状況、怪我などのインシデント事例などを報告し合い、情報共有をしている。
・他のクラスの保育内容を知り、園庭や保育室の使い方をクラス同士で調整するようにしている。
・自分のクラスだけでなく全体のことを考えていけるよう、他のクラスへの関心づくりも今後は必要と考える。

〇保育内容（A）
・各年齢クラスで、子どもの姿や季節にあわせて、計画的に様々な活動を計画し楽しんでいる。部屋や園庭も保育計画に合わせてクラス同士で話し合い調整するようにしている。
・３歳以上のクラスは、行事への取り組みに多くの時間を要している状況があるが、分担しながら取り組んでいる。
・どの年齢クラスも、子どもが主体的に遊びに取り組める環境を大切にした保育をすすめていけるよう工夫している。そのためにも、園内研修をより深めていく必要がある。

〇職員会議など（A）
・月に１回の所内研修は、主担任が参加しているが、昼礼などは可能な限り短時間でもいろんな職員が参加するようにし園内のことにみんなが共通意識をもてるようにする。
・勤務形態が多様で、全員が集まることは難しいが、必要に応じて、クラス会議を行い、情報の共有や意見の収集や内容の検討機会を確保できるようにする。
・伝達方法を見直し、会議に出た先生が、重要なことなどをクラス内で申し送りできるようにした。

〇施設・整備（A）
・築 9 年間経過して、徐々に小さな修繕が必要になってきた。
・屋根の修繕を行った。

〇園内研修（B）
・全員参加は難しいが、クラス単位の職員が対象の研修をもつようにしている。
・園外研修に行くことも限られているため、研修で受けたことを園内でも共有できる研修機会をもてるようにした。
・系列園内での職員間の研修を充実してもよい。

〇保護者会活動（A）
・運動会の運営補助や夏祭りの前日準備をお願いします。
・懇談の書記などのお願いした。
・資源回収は保護者会とともに行った。（年間４回）
・卒園式の謝恩会の準備や進行をすすんでおこなっていただいた。

■学校関係者評価について

学校関係者評価2026年3月31日

学校評価アンケートR8年3月1日-3月20日実施

2025年度　認定こども園みゆき　保護者・利用者等関係者の評価アンケート（無記名）　　認定こども園みゆき

2026.03.31現在　　園児数166件（家庭数128件）　　アンケート提出数116件

評価 A：そう思う B：ややそう思う C：あまり思わない D：思わない　E：分からない

Q	項目	評価										回答数
		A	A 回答率	B	B 回答率	C	C 回答率	D	D 回答率	E	E 回答率	
1	子どもは、園生活を楽しいと感じて通園し、意欲的に活動に参加している。	94	81.0	19	16.4	2	1.7	0	0.0	1	0.9	116
2	子どもは、園で十分に遊んだり、運動している。成長を感じられる。	105	90.5	11	9.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	116
3	子どもは、園の出来事、先生や友だちの話をしている。（人間関係が築けている）	77	66.4	28	24.1	3	2.6	0	0.0	8	6.9	116
4	子どもは、給食やおやつをおいしく食べている。楽しく食事ができている。	99	85.3	17	14.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	116
5	子どもは、あそびと休息などでリズムある生活ができている。	102	87.9	13	11.2	0	0.0	1	0.9	0	0.0	116
6	子どもは、身辺自立に向けた行動ができる。	86	74.1	27	23.3	0	0.0	0	0.0	3	2.6	116
7	職員は、明るく接し、適切な言葉遣いや電話対応ができている。	96	82.8	19	16.4	1	0.9	0	0.0	0	0.0	116
8	職員は、保護者との信頼関係ができ、コミュニケーションがとれている。	87	75.0	27	23.3	2	1.7	0	0.0	0	0.0	116
9	職員は、人権を大切にし、子どもをよく理解し、誠実に対応している 。	87	75.0	25	21.6	2	1.7	0	0.0	2	1.7	116
10	職員は、教育・保育の指導方法や内容を工夫している。	93	80.2	20	17.2	1	0.9	0	0.0	2	1.7	116
11	職員は、園での子どもの様子や連絡事項を適切におこなっている。	82	70.7	31	26.7	3	2.6	0	0.0	0	0.0	116
12	園は、自然や社会とかかわりをもてるような体験を取り入れている。	86	74.1	25	21.6	2	1.7	0	0.0	3	2.6	116
13	園は、年齢の異なる園児がふれあえるような機会をもっている。	91	78.4	21	18.1	1	0.9	0	0.0	3	2.6	116
14	園は、保護者の子育てについての必要な面談や支援を行っている。	82	70.7	28	24.1	3	2.6	0	0.0	3	2.6	116
15	園は、地震・火災・不審者から子どもが守られるように努力している。	101	87.1	12	10.3	1	0.9	0	0.0	2	1.7	116
16	園は、施設の安全点検、衛生管理を行っている。	91	78.4	19	16.4	0	0.0	0	0.0	6	5.2	116
17	園は、早朝保育や延長保育など少人数での保育を適切に行っている。	82	70.7	14	12.1	3	2.6	0	0.0	17	14.7	116
18	園は、だよりやセコムメール等で情報を分かりやすく伝えている。	94	81.0	21	18.1	1	0.9	0	0.0	0	0.0	116
19	園で行うキッズビューによる情報共有は、利便性が高い。	86	74.1	28	24.1	2	1.7	0	0.0	0	0.0	116
20	園は、保育参観や懇談を通じて、園の状況や家庭での育ちを共有している。	90	77.6	22	19.0	3	2.6	0	0.0	1	0.9	116
21	園の、全般的な行事の回数や時期・内容は適当である。	91	78.4	24	20.7	0	0.0	0	0.0	1	0.9	116
22	園の、運動会の時期・内容は適当である。	87	75.0	11	9.5	2	1.7	0	0.0	16	13.8	116
23	園の、生活発表会の時期・内容は適当である。	80	69.0	17	14.7	2	1.7	1	0.9	16	13.8	116
24	園の、参観日や懇談の時期・回数・内容は適当である。	81	69.8	32	27.6	2	1.7	1	0.9	0	0.0	116
25	園の、夏祭りの時期・内容は適当である。	90	77.6	18	15.5	0	0.0	0	0.0	8	6.9	116
26	保護者会は、役員の負担は適当である。	62	53.4	21	18.1	0	0.0	0	0.0	33	28.4	116
	平均（Q1～26）	89	76.3	21	18.2	1	1.2	0	0.1	5	4.1	116

感想	（行事）運動会と発表会の人数制限があるのは仕方がないが、祖父母等にもいつも送迎をしてもらっているので一緒に成長をみてもらえたら嬉しい。 発表会の開催時期が感染症の流行る時期なので毎年ハラハラしています。 0・1歳に運動会・発表会がないのは少し残念。 参観日にご褒美として物をプレゼントされるが、また提出しないといけないため少し残念。参観日も含め見に行ける人の人数が厳しい。 参観日が定期的にあり他の園と比べて多いので、親としては嬉しいです。特にまだ話せない年齢だと様子が聞けないので参観日で様子が見れていいなと感じています。平日仕事があるから預けているので、参観日は土曜日だと助かります。行事の人数制限がなくなってほしい。祖父母にも家とは違う園での頑張る姿や成長を見せてあげたい。 夏まつりや他の行事で子どもたちが楽しめる内容をいつも考えてありありがたい。 来年度から参観2人の参加にしてくださりありがとうございます。それに因んで運動会は家族のみの参加などにしてもらえたら嬉しいです。 親が家での様子を入力できるところで、細かく連絡していたのにも関わらず、みんな同じ内容と思うテンプレートで返事が返ってきて悲しかった。何十人も子どもがいて一人一人にお返事するのも大変なのもわかりますが、もう少し返事に対して寄り添ってほしいなと思いました。 キッズビューは便利ではあるものの、大切なことをすっかり忘れそうになります。 （環境）出入口の門（スライドではない方）が開けにくい。キッズビューを開いた時の電波が悪くて仕事行く前とかになかなか開かない時に困る。 （その他）早朝保育の専属の先生はどんなに忙しくても変わりないですか？と声をかけてくれるが、その先生が休みの日は、自分の担任の子ではないと畳の所からこちらを見るだけで声もかけてこない職員が複数おられます。忙しい時間帯とは思いますが、口頭でお伝えしたいことがあるとき困ります。また、延長保育の時間でも、担任の子ではないと挨拶もなく、こどもが一人でなごみの部屋から出てくることが何回かありました。誘拐や離園につながるので改善を求めます。 挨拶が不適切だなと思う方がいます。私たちがいても私たちの後ろの親子に挨拶をする、挨拶をしてきたと思ったらこちらの挨拶の途中でドアを閉めるということがありました。いつも明るく挨拶をしてくれるせんせいしかいないと思っていたので驚きました。 （感謝）家ではできないことをたくさん経験させていただいて本当にこの保育園に通えて先生や友達に出会えてよかったと思っています。いつも本当に手厚いサポートがある園だと思います。先生たちも本当に頼りになり、なんでも相談できるほど信頼しています。園で覚えてきた遊びを家でよく披露してくれ園が楽しいのだなと思います。一人でご飯を食べるのも日に日に上手になっていったり、そういうところを見るたびにたくさんのことを園で学んできているのだと感じています。毎日こんなことをしたよ！といろいろな話を聞き、経験を広げて下さり感謝しかありません。楽しいときや成長が見れたときは一緒に喜んでくださり嬉しかったです。またつらいときには何度も話を聞いてもらい、子にも親にも寄り添ってくださり、本当にたくさんの先生方に支えてもらい、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもの様子を細かなところまでよく見て下さっており、安心して通わせることが出来ています。また、人として大切なことを表面的ではなく日々のかかわりの中で丁寧に教えて下さり親としてとてもありがたく思います。保護者の相談にも真摯に向き合ってくださり、これまで何度も助けていただきました。
提案	（行事）運動会と発表会のリハーサルの時に祖父母のみの自由参観の実施をしてもらいたい。 参観日の実施時期を1月初旬にしてもらいたい。（感染症がピークになる前） 参観日の回数と時間をもっと多く長くしてほしい。参観日は給食の準備様子や食べる姿を見るいい機会なので、給食を食べ終えるまでの参観日を考えてほしい。 祖父母参観は、来れない祖父母やきょうだいと一人の所しか行けないとかもあるのでコロナ時みたいに制作だけ渡すというカタチでも良いと思います。 夏まつりは年々暑くなってきているのでもう1～2週間早めていただけると嬉しいです。 （あそび）外遊びの時間が増えたり、竹馬に挑戦したりと体を使う時間が増えたのはよかった。もっと体を動かすことを増やしてほしい。 （帳面おたより）毎日の園からの連絡が、他のお子さんも同じ文章で、1日の詳しい様子がわからない不安がありました。毎日は先生方も大変だと思うのですが、時々はできるようになったこと、頑張っていたことなど、様子が少しでもわかると安心できるなと思いました。 病気の表がキッズビューでも見れると良い。園の扉にもお知らせを張ってくださいますが、各クラスのたよりもホワイトボードに貼っていただけると目について良いと思います。 一日の写真を週2・3回でいいので出して欲しい。 おたより　～だよりはプリントで欲しい。 （環境）貸出絵本の種類をもっと増やしてほしい。 （その他）赤ちゃんを連れている保護者のお布団をお布団バッグに入れて置いてほしい。